古田史学の会　特集

古代大和史研究会　講演80回の歩み

【第１回】2018年６月５日　よみがえる日本の神話と伝承①天孫降臨の真実
【第２回】2018年７月３日　よみがえる日本の神話と伝承②「神武東征」の真実～河内湾突入
【第３回】2018年８月７日　よみがえる日本の神話と伝承③天孫降臨から神武東征まで
【第４回】2018年10月２日　よみがえる日本の神話と伝承④飾られた神武の熊野以降の討伐譚
【第５回】2018年11月６日　俾弥呼と「倭国大乱」の真相
【第６回】2018年12月４日　ヤマトの神武と欠史八代～銅矛圏（筑紫）から銅鐸圏へ
【第７回】2019年３月５日　ヤマトから外界へ～崇神・垂仁の銅鐸圏への展開
【第８回】2019年４月19日　太宰府に来ていたペルシャの姫～亡命ペルシャ王族6000㎞の流浪の旅。俾弥呼から「倭の五王」へ①景行天皇～神功皇后と俾弥呼～倭の五王（古代に真実を求めて出版記念）
【第９回】2019年５月　俾弥呼から「倭の五王」へ②景行天皇～神功皇后と俾弥呼～倭の五王
【第10回】2019年６月「倭の五王」から磐井へ①倭の五王の半島進出と筑紫君磐井
【第11回】2019年７月「倭の五王」から磐井へ②倭の五王の半島進出と筑紫君磐井
【第12回】2019年８月６日　「多元史観」で考える磐井の乱の真実「磐井の乱」は虚構だった
【第13回】2019年９月３日　筑紫君磐井は「九州年号」を作り、聖徳太子の生涯も「九州年号」で記されていた
【第14回】2019年10月１日　誰も知らなかった万葉歌①万葉八番歌と偽りの斉明の航海
【第15回】2019年11月５日　誰も知らなかった万葉歌②天武・持統と幻の吉野、③万葉歌に見る神功皇后と幻の伊勢
【第16回】2019年12月３日　誰も知らなかった万葉歌④白村江前夜に身罷った大王と帰らぬ皇子を待つ妻の歌
【第17回】2020年１月７日　誰も知らなかった万葉歌⑤「白村江敗戦」と天智・近江朝挽歌
【第18回】2020年２月４日　誰も知らなかった万葉歌⑥壬申の乱と天武・持統紀の真実
【第19回】2020年６月23日　古代の疫病と九州王朝の対外戦争「聖徳太子」は天然痘で薨去した
【第20回】2020年７月28日　多利思北孤の時代①6世紀中葉から7世紀初頭の九州王朝とヤマトの王家
【第21回】2020年８月18日　『記紀』神話の「海幸・山幸」と「隼人」の反乱
【第22回】2020年９月29日　多利思北孤の時代②「菩薩天子」阿毎多利思北孤の誕生
【第23回】2020年10月27日　多利思北孤の時代～多利思北孤即位前記～③多元史観で見直す「丁未の乱」
【第24回】2020年11月17日　多利思北孤の時代④多利思北孤即位とその事績～外交と内政
【第25回】2020年12月22日　多利思北孤の時代⑤多利思北孤の「仏教治国策」～「17条憲法」と征戦
【第26回】2021年１月26日　多利思北孤の時代⑥「仏教治国策」と文化・芸能～「能楽の祖」と「筑紫舞」
【第27回】2021年２月23日　多利思北孤の時代～聖徳太子の実像―1400御遠忌を迎えて⑦もう一人の聖徳太子
【第28回】2021年３月23日　伊勢王の時代①盗用された常色の天子の事績
【第29回】2021年４月27日　伊勢王の時代②『書紀』に盗用された伊勢王の事績
【第30回】2021年５月25日　伊勢王の時代（熟田津と「斉明」虚構の航海）③繰り下げられた利歌彌多弗利の葬儀と伊勢王の事績
【第31回】2021年６月22日　伊勢王の時代④持統の伊勢行幸は無かった
【第32回】2021年９月28日　卑弥呼と邪馬台国―徹底解明邪馬「台」国九州説①卑弥呼と魏使の行程
【第33回】2021年10月27日　伊勢王の時代（赤渕神社）⑤伊勢王の改革と「大化の改新・天武の改革」
【第34回】2021年11月24日　白村江の戦い前史①倭国はなぜ白村江に参戦したのか
【第35回】2021年12月21日　卑弥呼と邪馬壹国―徹底解明邪馬「台」国九州説②邪馬壹国の物証
【第36回】2022年１月26日　白村江の戦い前史②伊勢王の専守防衛戦略～それは『書紀』で「狂心」と謗られた
【第37回】2022年２月22日　白村江の戦い前史～迫る大戦と国家総動員体制構築③国家総動員と蝦夷・粛慎討伐・伊勢行幸・有間皇子誅殺
【第38回】2022年３月29日　白村江の戦い前史④知られざる「白鳳の戦い」
【第39回】2022年４月26日　白村江の戦い前史⑤白鳳元年（661）の変①
【第40回】2022年５月24日　白村江の戦い後史①近江朝の天智と「倭姫王」
【第41回】2022年6月28日　天智と天武～近江朝滅亡と壬申の乱
【第42回】2022年８月23日　壬申の乱と隠された九州～英雄に祭り上げられた天武
【第43回】2022年９月27日　天武天皇の実像①～多元史観から位置づける天武
【第44回】2022年10月25日　天武天皇の実像②～天武と九州王朝の天子たち
【第45回】2022年11月29日　太宰府と白鳳年号の謎～唐の駐留と都督薩夜麻
【第46回】2022年12月27日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ①２つの大化年号と２つの宮城～難波宮と藤原宮
【第47回】2023年１月24日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ②誰も知らなかった倭姫王の生涯～薩摩で生涯を終えた倭姫王と倭国最後の王
【第48回】2023年２月21日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ③富雄丸山古墳の鼉龍文盾形銅鏡。天武から持統へ
【第49回】2023年３月28日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ④志賀島の金印と倭奴国王。天武・持統紀は信頼できるのか。盗まれた「広瀬神・竜田神」の祭礼
【第50回】2023年４月25日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑤広瀬神・龍田神の祭礼。考古学が証した繰下げと『書紀』の天武礼賛。676年の「天武の人身売買禁止」
【第51回】2023年５月23日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑥隠された「隼人討伐戦」の真相
【第52回】2023年６月27日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑦「禅譲」と藤原宮を追われた倭国王
【第53回】2023年７月25日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑧石棺発掘記念吉野ヶ里の秘密藤原宮を追われた倭国王
【第54回】2023年８月22日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑨吉野ヶ里は奴国だった。藤原宮を追われた倭国王
【第55回】2023年９月26日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑩古代史の転換点朱鳥元年（686）▷10月８日　女帝の時代持統・天武と武則天・高宗（おもしろ歴史フェスティバル）
【第56回】2023年10月24日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑪武則天に擬えられた持統天皇
【第57回】2023年11月28日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑫「王朝交代」を果たした持統天皇
【第58回】2023年12月26日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑬歴史探偵「白村江の戦い」。持統・文武と王朝交代
【第59回】2024年１月23日　倭国（九州王朝）から日本国（大和朝廷）へ⑭「倭姫王」と発掘された「暗文土師器」
【第60回】2024年２月27日　『書紀』1300年の欺瞞（総論）『書紀』編者はどんな手法で歴史を偽ったのか
【第61回】2024年３月26日　不都合な真実に目をそむけたＮＨＫスペシャル古代ミステリ～（邪馬台国と俾弥呼の謎編）
【第62回】2024年４月23日　王塚古墳と倭国（九州王朝）の６世紀
【第63回】2024年５月28日　大阪天満宮で開催された「庖丁式」。６世紀の九州勢力の半島での攻防と任那滅亡
【第64回】2024年６月25日　「磐井前史」１世紀から倭の５王に至る倭国の対外戦史
【第65回】2024年７月23日　景行天皇の「熊襲討伐」はなかった。「済と興」の崩御原因と年代
【第66回】2024年８月27日　「倭の５王」と半島諸国との攻防
【第67回】2024年９月25日　神武は阿波忌部に助けられ鳴門海峡を渡った（古代に真実を求めて出版記念）
【第68回】2024年10月22日　倭の５王時代の終焉から磐井へ
【第70回】2024年11月26日　偽りの「磐井の乱」『書紀』はこのように磐井を悪人に仕立てた
【第71回】2024年12月24日　聖徳太子の半島出兵は無かった／浄照寺（古田史学の会創立30周年記念）
【第72回】2025年１月28日　逆転の万葉集①万葉集と大伴家の没落いやしけ吉事は家持の絶唱だった
【第73回】2025年２月26日　逆転の万葉集②万葉８番歌（熟田津の歌）の謎いつどこで詠まれたのか
【第74回】2025年３月25日　逆転の万葉集③万葉集と幻の伊勢持統の伊勢行幸は無かった
【第75回】2025年４月22日　逆転の万葉集④天武・持統と幻の吉野そこには「唐人」がいた
【第76回】2025年５月27日　逆転の万葉集⑤飛鳥時代の「岸壁の母」万葉集と白村江の敗戦
【第77回】2025年６月24日　逆転の万葉集⑥万葉集と猟に斃れた大王
【第78回】2025年７月29日　歴史に現れた北方の部族阿倍比羅夫と蝦夷・粛慎
【第79回】2025年８月26日　利歌彌多弗利法隆寺にいたもう一人の聖徳太子
【第80回】2025年９月23日　「聖徳法皇」利歌彌多弗利から「常色の天子」伊勢王へ
【第81回】2025年10月28日　「大化の改新」はなかった（予定）
【第82回】2025年11月26日　天武紀の秘密～それは天武の事績ではなかった（予定）
【第83回】2025年12月23日　持統紀の秘密～それは持統の事績ではなかった（予定）

古代大和史研究会 第80回講演会

古代大和史研究会（原幸子代表）は9月23日（火・祝）、第80回講演会を開催した。同会は原則として、第4火曜日午前10時に県立図書情報館交流ホールで行われている。80回目の講演を紹介する。

第4火曜に県立図書情報館で

元大阪府立大学理事講師
正木裕氏

聖徳太子は「利歌彌多弗利」か

①繰り下げられた「天皇・皇后の病と法要準備」
②繰り下げられた利歌彌多弗利の法要
③『赤渕神社縁起』の新たな発見

①大化と常色
②『縁起』と『書紀』が語る歴史
③『縁起』に記す利歌彌多弗利の法要
④皇后主催の利歌彌多弗利の法要

正木裕氏（元大阪府立大学理事講師、古代大和史研究会常任顧問）

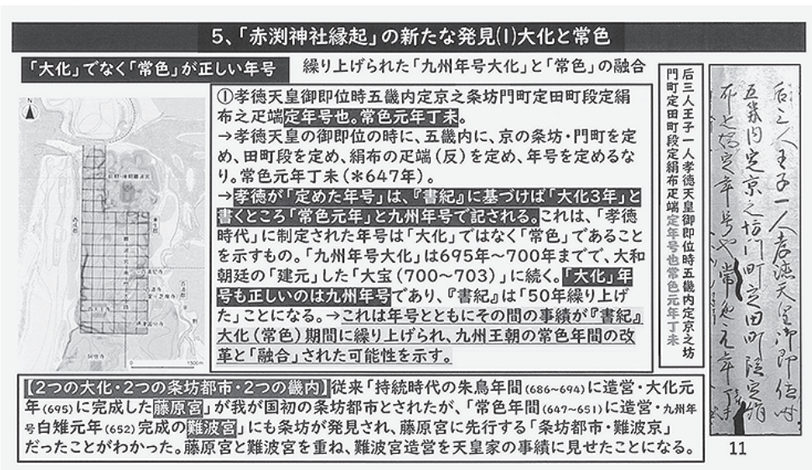
◇演者　正木裕（元大阪府立大学理事講師）
◇演題　「聖徳法皇」利歌彌多弗利から「常色の天子」伊勢王へ

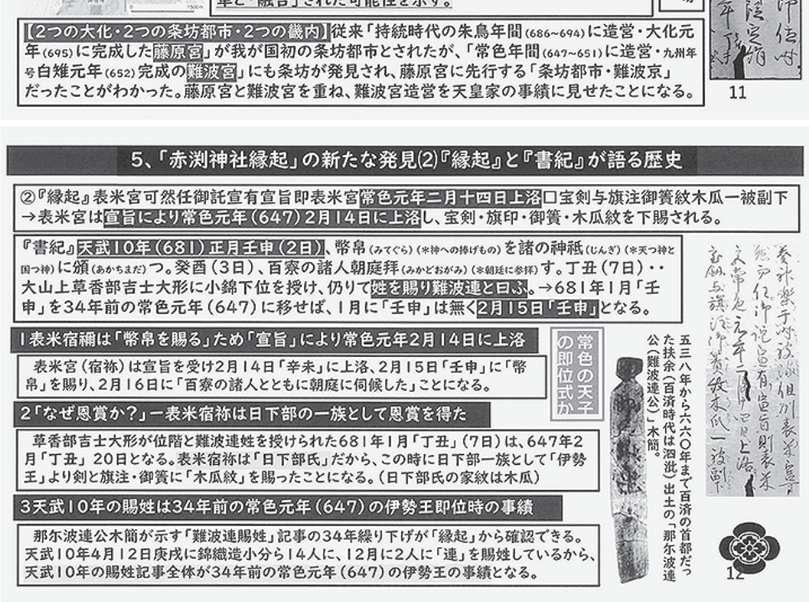
【要旨】

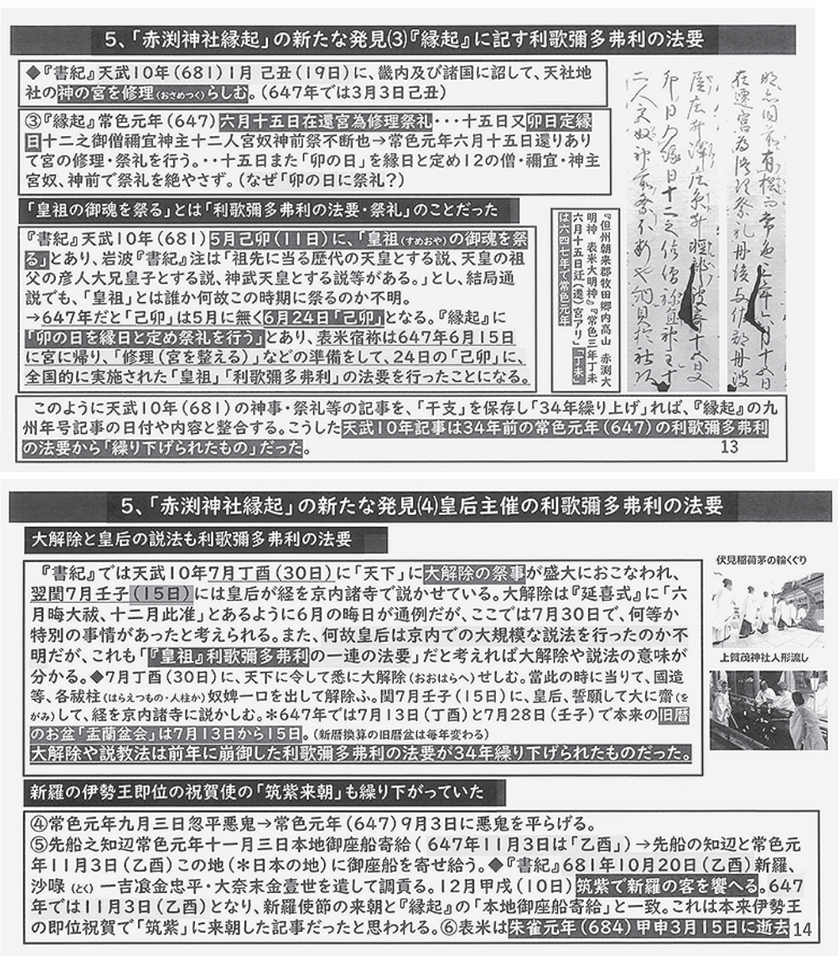
◆舒明12年（640・命長元年）5月辛丑（5日）に大きに設斎す。因りて、恵隠僧を請せて、無量寿経を説かしむ。

1、「日出る処の天子」阿毎多利思北孤
①「聖徳太子」のモデルは厩戸皇子ではない
②「聖徳太子」のモデルは多利思北孤
2、多利思北孤の太子「利歌彌多弗利」
①利歌彌多弗利の事績
②繰り下げられた利歌彌多弗利の事績
3、2つの無量寿経講説
①「命長元年」と「白雉元年」に2分割された無量寿経講説
②九州年号をもとに分割された無量寿経講説
4、天武紀に移された利歌彌多弗利の崩御
①天皇・皇后の病気と平癒
②繰り下げられた「天皇・皇后の病と法要準備」
③繰り下げられた利歌彌多弗利の法要
5、『赤渕神社縁起』の新たな発見

【スライドの抜粋】『赤渕神社縁起』の新たな発見







講演録は下記
ＱＲコードで